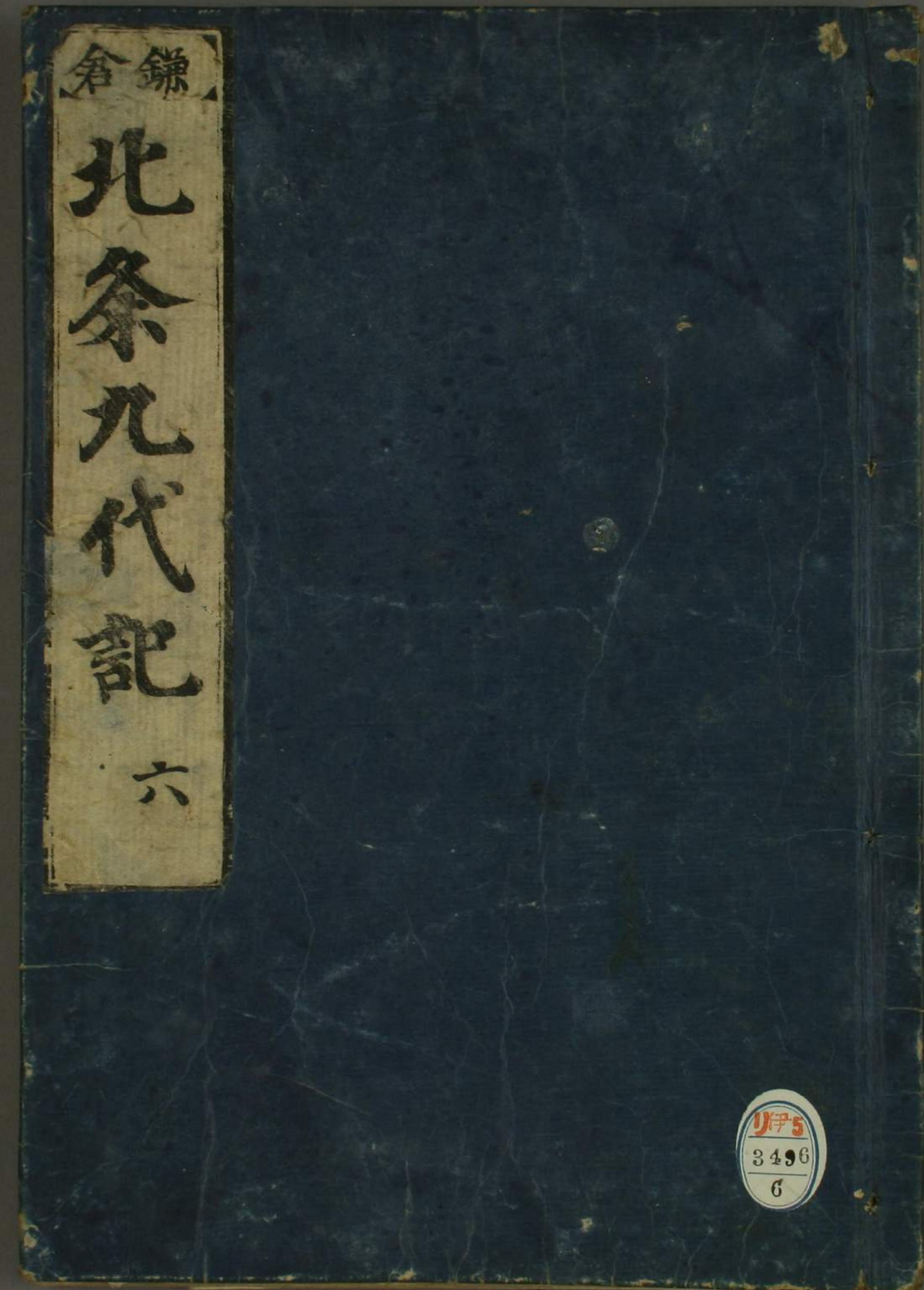


• 0 1 2 3 4 5 6 7 8

• 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

リヨン
3496
6



リ伊
3496
6

鎌倉北條九代記卷第六

宇治川軍敗北付士護覺心謀略

山田次郎重忠ハ杭瀬川ノ軍破レテ後都ニ帰リ參リテ。事ノヨリラ矣聞ス。海道所モノ要害トモ甲斐ナク打落サレ北陸道ノ軍勢モ都近ク責寄ルト聞エシカ。六月九日酉刻三院ハ御祈願ノ御爲トテ新院令泉宮玉口友ニ日吉ヘ御幸ル。東坂本梶井官ノ御所ヘ入御。翌日卯ノ刻三都ヘ還御有テ。四方ノ門ヲ閉テ。兔角ノ金義モ仰せ出サレサリレカハ謀叛結構ノ公卿殿上人。サルニテモ打手ヲツカラシ防ガレコソトス、メ申テ。手分ヲゾイタサレケル。山田次郎重忠ニ山法師播磨豎者。小鷹坊知性房丹後ヲ始ム。三千餘騎尋サレ塗テ。勢

多ノ手ヘツカハサル能登守秀康平九郎判官覩義少輔
 入道近廣佐木弥太郎判官高重中條下總守盛綱安
 藝宗内左衛門尉伊藤左衛門尉ヨレラ先トニテ一万
 餘騎ハ供御瀬向ラル前中納言有雅卿甲斐宰相中
 將範義朝臣右衛門佐朝俊武士三八山城前司廣綱子
 息太郎右衛門尉筑後六郎左衛門尉熊野田邊法印
 十万法橋万劫禪師奈良法師土護覺心圓音坊正ヲ
 ヲ初メトニテ一万餘騎ハ宇治ノ渡リニ向スレタリ長瀬判
 官代足立源左衛門尉ハ五百餘騎ニテ牧嶋ヘサセ向フ
 一條宰相中將信能一位法印尊長ハ一千餘騎ニテ一口
 ハ向ラレケル坊門大納言忠信ハ一千餘騎ニテ淀ヘ向
 ハ河野四郎入道道信子息太郎五百餘騎ニテ廣瀬

ニゾ向ラレケル去程ニ東海道ノ先陣相模守時房承久三年
 六月十二日勢多ノ橋千カク野路ニ陣木人ノ友
 ハヒテ見セラルニ橋ノ中一間ヲ引落レ搔櫛ノ破キ山田
 次郎ヲ始メトニテ山法師大勢三ア扣タリ相模守ノ手
 ハ即等草川重三郎階見太郎佐木目五郎足立三郎讚
 岐太郎等橋爪ニ押寄テ行ケタラ渡リテ戰カニ江戸
 八郎真田ヲ射レテ倒ニ落テ流セタリ熊谷平内左
 衛門久目左近吉見十郎廣田小次郎押詰テ三ノ搔
 櫛ヲ切破リ鐵ヲ傾ケテ積カル山田次郎是ヲ至テ山
 ノ大衆ニ向ヒテアレホドノ小勢ヲハイカニ又サセ給フゾト
 ハヒケバ播磨豎者小鷹坊心得タリトテ大長刀水車
 三ノハヒテ寄手六人搔櫛ノ際ニ難卧外熊谷平内左衛

門尉。小鷹坊二引組テ。首ヲカシトスル所ニ。山田次郎が
郎等。荒左近落合。熊谷ガ首ヲトル。大將相模守ハコ
軍早リ過テ。人數ヲ損ズルコト然ル。カラズ。ハタク静テ
色ヲ見ヨ。ト下知セラレシカ。橋帆ヲ引退キ。タゞ矢軍
バカリゾイタケル。折不^レ兩^ノリ出テ。車軸ヲ流ス。ア
カリゾイタケル。折不^レ兩^ノリ出テ。車軸ヲ流ス。ア

クナル。武藏守參時^ハ、思ハレケ^セ。家ノ子芝田禱六^ヲ
ミヒテ。河ノ瀬^ヲ踏^マタセトアリ。芝田^ハ横嶋ノ^一岐^{ナル}
瀬^ヲ中嶋ニ游キ^ツキ^ツ。歎ノ模^ハ申^アグル所ニ。佐々木四郎只一騎。
テ立帰リテ。アリサマラ申^アグル所ニ。佐々木四郎只一騎。
御^ハ弓^ヲ子^ヲ。逸物ノ栗毛ノ馬。ソノ長八寸三^{アリ}タル。白^シ
鞍^ヲカセ^カ。カノ^一岐^ノ瀬^ニカハト打入瀬枕^ヲ切^テ金^ヲ。又^ハ
シ近江國ノ住人。佐々木四郎左衛門尉源信綱。今日^モ治^ハ

川ノ先陣トゾ^ナリケル。コレヲ見テ中山。佐野。浦野。白井。
多胡。秋庭ヲ初上^テ。小笠原四郎。内海九郎。河野九郎。
勅使川原小三郎。長江。小野寺闇左鳴ヲ初^メテ。諸軍打
入^ク渡^シケル。水^ハ勞^カレ^テ陸^ハ海^ニゾナリニケル。ソノ中ニモ
馬弱^キ。押流サレ^テ死スルモノ^モ。才亦カリケリ。後^ニ入^数
ヲ尋ヌ。ハ八百餘人ハ流^レテ死^ダリ。サレドモ大軍十^ハ數
三モアラズ。京方下^リ合^テ。散^イニ防^ギ戰^カ。討^アリ謀^ル。
モアリ。物ノ色目モミエワズ。右衛門佐朝俊。歎ニ組^レテ
打^シ死^セラル。又京方ヨリ緋威^ノ鑑^ニ白月毛^ノ馬ニ金輪輪
ノ鞍^ヲ置^テ。打^シタル武者一騎。小河太郎^ニせ合^テ。打^シタ
ル^ハ鐵^ヲ染^ム黒^{ナリ}。小河押^ナス。ケル所^ヲ。拔^テ打^ニ甲^ノ
眞^甲ヲ打^レテ。目昏^ミニケレドモ。取^ツキタル所^ヲ放^タズ。馬

ヨリ。トウト組テ落タリ。心ヲ静ムテ見タリケレ。我が組テ
 才サヘタル歎ハ首モナキ體ハカリナリ。コハツカ二人ノ組タ
 ル歎ノ首ヲ傍ヨリトル事ヤアルト。呼リニカハ武藏太郎
 殿ノ手ノ者ニ伊豆國ノ住人平馬太郎ゾカレ。和殿ハ誰ソ。
 駿河守殿ノ手ノ者小川太郎經村ト名スル。サラバトテ首
 ヲ返ス。小川コレヲタテ上ス。後ニ此由申ケレバ。平馬太郎ガ
 僕事ナリ。上テ小川ニ勸賞給リヌ。甲斐宰相範義朝臣
 ノ御首ニテゾ侍リケル。佐木太郎左衛門尉氏綱ハ同名
 四郎左衛門尉信綱ガ甥ナリ。秋庭二郎ニ組テ討レタリ。
 萩野次郎中條次郎左衛門王寄手大勢ニドリメラレ。
 ツ井ニミナ討レタリ。土護覺心ハ散々ニ戰カウテ。今ハ叶フ
 下ジ軍合コレマテソ上テ南ヲサヒテ落テエク歎三十騎ハ

ガリニ遁サシトテ追跡クル。覺心ハ元來歩立ノ達者ナ
 レハ三室堂ノ傍坊マテ飛ガゴトクニ走リ入テ客殿ヲ玉レ
 ハ住持ノ僧ヤト覺レクテ睡リ居タルソノ前三物ノ具ヲ脱
 置テ。剃刀ノアリケルニ木龜ヲドリ具ヒテ縁ニ出テ頭ヲ
 ナリテ居タル所ニ歎キテ打入ツ物ノ具ノ傍ニ居ケル
 僧ヲ謀ニ無慚ナガラモ命ヲ各々カリ。奈良ノ方へ落行ダ
 リ。熊野ノ白邊ノ吉印ハ子息千王禪師ヲ討せナガラ。其
 身ハ泣々熊野ニ帰リニケル。宇治ノ渡リ京方已ニ敗北
 ミテ横川橋木幡山伏見岡ノ屋日野勘修寺ニイタル
 テ。落人オホク道ニ討タリ。供御ノ瀬鵠飼瀬廣瀬
 横嶋所ニ向ラレニ東勞トモ。宇治ノ北ノ在家ニ火ノ手

ノアガルヲミルヨリモ。我先ニト落ウセテ。殘ル兵一人モナ

ニ夜ニ入ケレバ。

寄手ハ次第ニ二靜ニ川ヲ越ラレケル。

京方武將没落付鐘月房歌井雲客死刑

能登守秀康。十九郎判官観義。山田次郎重忠ハ散々ニ

打ナサレ。郎從ドモハ或ハ討レ。或ハ落タセテ。賴ム影ナクナ

リ粉々。一院ノオハニス四辻殿へ行リタレバ。武士トモハ

コレヨリ何方^ヘ落^シケトテ。門ヲモ開カテ突放サル。山

田次郎大音^{アヤ}落^シケテ。大臆病ノ君ニ語^{カタ}ハレ。今ハ内ニタニ

入テレス。憂死センズルハトニ。南ヲサニテ打^ハケルガ嵯峨野

ヲ心ニカケツ。西ヲ遂^シ落^シケ所。三子息伊豆守二行令父

リ桂川ノ邊ニテ。天野左衛門尉百騎ハカリニテ追ツメタ

リ。人手ニカ、ヲジトヤ思ヒテ。山田父子ハ小竹ノ中ニ走

リ。入^ハテ腹^カ撫切^リテ死^ニケリ。平九郎判官ハ父アメニ一人。

西山ノ方ニ行キ心^シ力ニ自害ラゾノイタシケル。天野四郎

左衛門ハ首ヲ^ハテ出^タリレラス。ハチ切^リテ捨^タレタリ。

後藤大夫判官基清ハ降人ニ出^タリシヲ御^ハシテ死

ハ子息左衛門尉基綱甲ウタニテ功ニケリ。伴人ニ切^サテ死

骸ヲ申^ハケテ孝養^セニ六遙カニ葬^ル事ナリト。人^ハ

傾^ケケ衣^ハニ合^ケリ駿河入夫判官准宣ハ行方ナク落^シ

せヌ。一位法印尊長ハ十津川ニ逃^モ。清木法師鏡月房同^ク弟子常陸房美濃房二人ハ^{シテ}又捕^シテ至^リ

切^ハキニ極マル所ニ鏡月房一首ノ歌ヲ^ハ詠^シケル。

鞠^ハシバ身ヲハ^シテキ武士^ハ八十ウチ川ノ瀬ニハ立^トド

武藏守參時此歌ヲ感^シテ命タスケヨトテ。走サレケリ。

一首ノ歌ニ師弟三人命ヲツガルコソカキ東ノ陰徳ナ
 レ佐木山城守廣綱同弥太郎判官高重モ生捕レ舍
 弟信綱ニ預ケラレ六條川原ニ斬ラレタリ熊野法印モ
 故卿ヨリ追出サレ道ニテカキナラレッ首ヲソ刎ラレケ
 ル坊門ノ大納言忠信卿ヲハ千葉介胤綱不以リ關東ニ
 下リ給ズベキニテ打立キル所ニ其比西八条ノ禪尼ト申
 スハ大納言ノ妹ニテ鎌倉故右大臣實朝公ノ後室ナ
 リ鎌倉ノ一位ノ禪尼右京大夫義時ヘ申サレケルナア
 リケバサヲバ助ケ奉レトテ遠江國舞坂ヨリ忠信卿
 ハ都帰リ上リ給フ籠中ノ鳥ノ雲ニ翔リ俎上ノ魚ノ
 海ニ帰リケニテカリケル御事ナリ中御門前中納
 言宗行卿ハ山新左衛門尉具レ奉リテ下リテルガ

嶋ガ原ニテ切レ給フベニト聞給ヒイト心細クオホシケ
 レ六瀬河ノ宿ノ亭ノ柱ニカノゾ書付給ヒケル
 今日過ル身ヲウキ鳴ガ原ニテノ露ノ命ハスニ定メケル
 モ六波羅ニ渡サレ關東ニ下リ給フ道ニテ失ナ
 ニテラセケリソアトノ有サニ宿所ノハ燒拂ハレ姫君
 北ノ方ト往ハレテ日比ハ人毛三エビト奥深クモリテ住
 給ヒニシ情ナクヨルヲ失ヤニ山野ノ嵐ニ身ヲカセ心ナ
 ラヌ月ヲ詠メ只悲レミノ涙ニ沈ニテレヌ思ヒニアコガレ
 給フオナジ世ニタニラバ千里ノ雲ハタツトモタニル
 ヨモアルベキヲ冥途イミナル境ノヤ便リニ通フコトモナ
 黄泉ノカナル旅十六帰リ來ルニ由ソナキ僅ニ殘ルモノ

トニテハ主ヲ^{スニ}羅^羅レシ面影ナリ見ルモ中ノ悲シキハ書スサ
ニタル筆ノ跡形見トナルゾ心ウキ北ノ方女房達アリコ
トノ堪^{カタ}サニ髮ヲ剃^{カミ}世ヲガレ苔^ケノ衣ニ身ヲシテ亡夫
ノ後世ヲアラニ給フ哀レキリニ事トモナリ。

本院新院御遷幸^{セニカウ}并土御門院配流

同七月六日武藏次郎駿河次郎數万騎ノ勢ヲ卒^スニテ
院ノ御所四辻殿^ノ移^シリテ本院ヲ鳥羽殿^ト御幸ナシ奉
ラニト拳聞^キレバ一院ハ兼テヨリ思召^シタケサセ給ヒタ
ル御事ナレドモ今更^タタリテ御心^ハ聲^ハレオ^ハニ^ス謀
先^ニ女房達ヲ出サルベシトテ車ヲ輶^キリテ遣出スニ^モ謀
反人全モヤ^ハリヌラニ^ステ武藏守近ク^ノイリテ弓ノ筈^ニテ
御車ノ簾ヲ挑^カゲテ見奉ルコソ理リナカラモ情ナリ^ス

ホエタル一院ヤガテ御幸ナル往昔^ハ警^ヘリテ警^ヘモナク
供奉モナシ姑射仙宮ノ玉ノ牀ヲヨソニナシテ立^スリ九重
花^カ都ハ今日ヲ限リトホ^ホメス脣^リ膚^リトコソ木
道^カレ東洞院ヲ下リニ七條殿ノ軒^{ツバ}ヲ心ノ外ニ
御覽せラル作道ヨリ鳥羽殿ニ入セ給^ハハ關東勢雲霞^カ
天^カ四方ヲカ^ムニテ守護^シ奉^ル玉宸ニ近ヅク臣下ハ
一人モ^ハ工給ハズ錦帳ニ參ル女御ヒナク只御一所ノ三
日^ハス同^シキ八日六波羅ヨリ使ヲ^ステ御出家アル
ベキヨレ申スヤガテ御戒師ヲ召^ヒテ御師ヲ財口サセ
給^フ番^リ恩^シサセ給^ヒタル御姿ヲ信實^ヲシテ似繪ニ
寫^ハサセラレテ七條院へ奉^ラせ給^ヒケレハ御贊シモアズ
御心モ昏^クサセ給^ヒテ修明^モ院ヲ^ハ火^ハテ^シセラレ

局

トツ御車ニスサレテ鳥羽殿へ御幸ナル。御車ヲサシテ
テカクト申入給ヘバ院ハキヅカラ御簾ヲ引カラセ給ヒテ。
 龍顔ヲサシ出サセラヒテマニエオトシニ疾ハヤ御帰リア
レト御手ニテ招キ遣せ給也。七條女院モ修明門院モ御
 目モタレ御心モ済テ絶入給フモ理リナリ。同月十三日惡
 岐國ヘシテ奉スヘシト聞エケレバ文アシハシテ九條殿ヘマ
ドラセラル君シガラニトシ成テアリ。ソノ財マニニ。
ヨリ
 墨染ノ袖ニ情ラカケヨカリモチモコソスレ。
 御供モ殿上人出羽前司重房内藏權頭清範。女房二人伊賀局白拍子龜菊ジイリケルスニ都立給ヒ
 水無瀬殿ヲ御覽シヤリテ爰ニアヌヤト思シタサシケル
 モせメテノ御事トスレナリ。

立籠タチス關サトハナサテ水無瀬川霧猶キリカレヌユクスエノ空
 播磨國明石ノ浦ニシカセ給フ。コハイヅクゾト御尋ア
リモカレノ浦ト申ケレバ。

都ヲハクラミ聞ニコソ出レカド月ハ明石ノ浦ニキニケリ。
 白拍子龜菊カクヅミケル。

月影ムカシコン明石ノ浦ナレド雲井ノ秋ゾナメモ戀シキ、
 美作ト伯耆トノ中山ヲ越アツシサセ給フトテ向ヒノ岸ニ細
 道ミエケル。イヅクヘ通フ道ゾト御尋アリケレバ。都ヘ
 通フ古道ニテ候ト申ケハ千代ノ古道ナラバ。都ニモ近
 カルベキニト思召ヤラセタニヒテ。

都人誰踐フメテ通ニケン向ヒノ道ノオツカレキカナ
 出雲國大濱ノ溪トイフ所ニシカセ冬シタサキ見尾崎トイフ

所ナリ修明門院ノ御文久ヘヨ、ヨリ之ヲレ給フ。御書

人
才
卷
二

是ヨリ御舟ニ入シテ。雲ノ浪。煙ノ波ヲ漕過。隱岐國
郡刈田ノ郷トイフ所ニ御所上テ。ツリ。タケタル。アモ
レケナル庵ノ内ニ入セ冬フ海。不立ニ近ケレハ。ヨセタル波ノ
音。夕カク。梢ヲツタフ嵐ノ声。御夢ヲタニ結ハ子。分イト、ウ
ヰ世ヲタニシラニ。依ナ。キソト悲ニ。一。世給ヘドモ。都ニカ
ルツテモ。ナレ。

ルツテモナレ
我コソハ新嶋守ヨ才キノ海ノアラキ波風心レテアケ
家隆卿此御歌ヲ都ニテウタ紳ハリ後ノ夕ヨリニ譲テ
奉ラレケル。

子サミヒテ寺カヌヲ聞テ悲シキハ。江ノ儀波ノ曉ノコエ
同二十一日新院ハ佐渡國ヘシ。サレササシ給フ。御供六冷泉
中將爲家朝臣。花山院少將。甲斐兵衛佐教經。上北面藤
左衛門大夫安元。女房右衛門佐局以下三人。ノ參リ給
フ。カクハ定メ聞エシカドモ。爲家朝臣ハ。ヒトドノ御送リラ
モ申サレバ。花山院少將ハ勞月トテ道ヨリ帰リ上ラレ
右兵衛佐教經ハ道ニテ身覗カリス。新院イト、御心ホメ
ク御送リノ者モセテデモ。御ナコリ惜シセタ。ヒテ。今日計
明日ハカリト留メサセ給。翁フゾ哀レタル短歌アソヒテ九
條殿ヘ。アソヒテサセ給フ。返歌ニ。

ナカラヘテ夕トハ未ニ帰ルトモ。ウキハ此世ノ都ナリケリ。
九條殿モ御歌ノ返シトテ。短歌アソハレニ返歌有ケル。

儀トフモナカニテアル世中ノウキハイカテ。春ヲ待ベキ

同十四日。

一院ノ御子六條宮雅成親王ハ但馬國次ノ

日。今泉宮頼仁親王。備前ノ兒嶋ウツササレサセ給フ。衣

朝ノ御別し。トリぐノ御歎キ。申スモ中ノ木口ガナリ。

取分修明門院ノ御歎キ。世ニタフニモ。オハシト見

奉ルモアリ。一院ハ隱岐國新院ハ佐渡嶋。西ノ空北ノ

雲。イヅレニ付テモ。足シキヤ。領ク月ヲ御覽ズレバ。隱岐ノ

カタ御コトシテ。セトホニク。初鳥羽ヲ聞シメセバ。佐渡ノ

アリサマ問テホニ澤邊ノ螢ホタルノスダクニモ。御物思ヒト共ニ

カガレ遠山ノ霞カスミノ名ナヒクモ。晴又歎キヲラスラン。東一條

ノ先帝カミ才人タレ、セハ佐渡院ノ御形見トハ思ニ文せドモ。イト

バ御慰ハナカリケリ。七條ノ女院ハ老父御身ニイツトモ

期セヌ都帰リ。今日ヤ。アスヤトオボレヌ。御歎キノ色

日ニシテ。サラセ給ヒ。オホニムニシテ。セ給フヨリ。シ聞

シ如シテ。隱岐ノ御所ヨリ。タラチメノ絶ヤラテ。露ノ身ヲ。風ヨリ先ニカデトハシ

七條院御返シ。

中ノ二萩ツツジノ風ノ絶子カレ。音ツレクハ露ゾコホル、

隱岐ノ法皇第一ノ御子ハ土御門院ト申奉ル。去ヌル承

元三年二月ニ御心ナラス。御位ヲオロシ奉リシカバ。御

恨ミ。カク。法皇三ハ御不孝ノゴクニテ。今度ノ御謀反

ニモ與シ給ハズ。関東ニモ兎角カタツクノ沙汰ニ及ハズシテ。都ノ

内ニ才人シニケル所ニ。仰せ出サレケルヤウ。一院配所ニ

也。我身都ニ安堵シ冬ハ。不孝ノ罪アカルベシ。同

じ遠國ニコソ栖給ハメトテ。九條ノ禪定殿^{スル}下右大將公
經卿^{ヨシキタ}ニ仰セラレシカバ。此ヨリ關東へ仰セサル。右京大
夫義時以下ノ人々憐レニ奉リテ。此上六力及ズトテ。同
十月十日土佐國ヘト定メラ。鷹司万里小路ノ御所ヨ
リ出シ奉ル。御供ニハ少將定平侍從貞元女房三人御
道スカラモ。哀ナル御事才木カリケリ。須磨ヤ明石ノ夜
浪千鳥ノ声モ遠近ナリ。高砂尾上ノ曉ノ夢。男鹿ノ許
ニヤサスラン。比ハ神無月十日丁^{タツ}ノ事。十六野^{ハチノ}草
鶯^{アマツシギ}霜枯^{カク}テ山路ノ梢モハラナリ。御衣ノ袂^{タマ}ニ秋^ハ殘^リ
テ露ノ滋サゾマリケル。讃岐ノ八嶋ヲ御覽ズレバ安徳
天皇ノ御事ヲ思召出サレ。松山ヲ見セラセ給フニモ崇徳
院ノ御^{アリ}サモ思ニツケ給フ。何事ヲ見聞給フニケテ

モ。今ハ只御身ヒトツニツサレテ。思ニテミ給ヒケリ。士
佐國ニ^シキ給^ヘトモ。御^{アシ}井^{アシ}リニ。チイサキ御事十
レバ。阿波國ヘタラセ給フ。阿波ト土佐トノ中山ニテ俄^ホ
ニ大雪降出^リテ。路更ニ埋^リモレ駕輿^{ヨモ}行^{ハシ}ミケレバ。
御輿ヲカキ^ハ奉リ。イカナルベキトモ覺エ。サリレカバ。院
御涙^{ムサ}バセ給ヒテ。

浮世ニハカ、レトテコソ生レケメ理^リ。ラヌ我涙カナ。
アタリノ松ノ枯枝切オロシ。御焼火ヲ奉リ。供奉ノ人^ノ
モ。コレニ^シタルテ。衛士ノ焼火ニアラ子ドモ折カラ衰レニ
悲レクテ。ミ大涙ヲゾ流レケル。夜モヤウ^ク明カタニナリ
ケハ。雪モ晴テ。空サヤカニ四方ノ梢モ白冬ナリ。御迎^ハ
テ人^ノリ加ヘリ。道^ノ三分サセテ。阿波國ヘナラセ給

フトテ

浦くニヨスル白浪コトハシオキノ事コソ聞ヘホレケレ
今年カナル年十レバ二院ニ官遠嶋ニサレ。公卿官
軍刑戮ニ逢ヌラニ不思議ナリケル運命力ナト。高キモ
イセキモ時節ノ變ラゾ歌ヒケル。時房參時朝時義村
信光長清等ハ一天ノ君ヲ擒ニシ。九重ノ城ヲ號キテ猛
威ヲ振ヒテ鎌倉ニゾ帰リケル。

後嵯峨院

新帝踐祚付能登守秀康被誅

懷成親王ハ新院ノ御ユリヲウケサセ給ヒケレ共御即
位ノ式モ調タハス。程ナク此乱アリレカバ。二院トモニ遠嶋
ニサレサセ給ヘハ。関東ヨリ計ヒ申テ。僅カ九十餘日
ニシテ。御位ヲオロシ奉リ。九條ノ廢帝ト申テ。王代ノ

數ノ外ニゾ才少レバス。後鳥羽上皇ノ御兄守貞親王ハ後
白河院ノ御心ニ叶ハせ給ハズトテ。帝位ニモ即奉ラズ。持明
院ノ宮ト号シテ。打コメラレテ。才人レケルヲ。義時計ヒ申テ。
御位ニツケ奉ラントアリカドモ。入道親王ノ御事ナリ。
御子茂仁親王ヲ帝位ニ仰ギ奉ルヘシトテ。今年十歳
ニ成リ給フヲ取立イラセ。御父ノ守貞ニハ太政天皇ノ
尊号ヲ奉リ。承久三年七月九日。新帝茂仁踐祚アリ。
後嵯峨院ト申スハ此君ノ御事ナリ。攝政道家公ハ鎌倉
ノ將軍賴經ノ御父ナレドモ。順德院ノ駿ナルニ依ニ官職
ヲ改補レテ。近衛家實公ヲモヒテ攝政ニゾ。神戸ラレケル。何
事モミテ。右京大夫義時が心ニ及せ鎌倉コリ計ヒ奉ル
武藏守泰時相摸守時房ヲ京都ノ守護トシテ。六波

羅ニゾ居置タル。叛逆興黨ノ没収ノ領地、凡三千餘ヶ所
 ナリ。一品禪尼ノ計トニテ。今度勲功ノ武士ニ勸賞アリ。
 功ノ度深ニ隨ヒテ。兎行ナル。自分ニシテハ立錐ノ地モナ
 レ。カ、ル所ニ謀反ノ張本能登守秀康。河内判官秀澄ハ
 戰場ヲ遁シ出テ。南都ニ落ドリ。深ク忍ニテ居タリケルヲ。
 武藏守泰時聞出レ。相摸守時房ニ云ニ合セテ。家人等ヲ
 畏ハシテ搜ニ求ム所ニ件ノ兩人ハ跡ヲ失ヒテ逐電ス。
 東大奥福ノ兩寺ノ内ニ方人アリテ。隠シ置スニシトテ。坊
 中ニ乱入シテ搜ニケバ。佛具經論ニテモ取散シ。狼藉ナ
 ルコト。伝フカリナレ。衆徒等大ニ怒テ。夜討強盜アリト詫
 リケルホト。衆徒ユトぐク蜂起シテ。相摸守ノ使テ四方
 ヨリ取力ヨミ三十餘人ヲ打殺ス。下部一二入辛ニシテ
 ヨリ取力ヨミ三十餘人ヲ打殺ス。下部一二入辛ニシテ

帰リ。六波羅ヘ申ケレバ。在京武士二千餘騎ヲ催シ。南都
 ニシテ向テレケル。衆徒此由ヲ聞テ。大ニ驚キ。木津河ノ木叶
 リニ來リ食テ。使者ヲモツテ愁ヘ申スヤウ。軍兵々々。今南
 都ニ打入候ラハ。衆徒等出合テ。力ヲ以テ防ギ戰ハ
 ニ。然ラバ古の平家ノ逆臣。至ニ大伽藍ヲ燒失セニニ異
 ナラズ。天下國家騒乱ノ本ナルベ。今度叛逆ノ張本ニモヒ
 テハ尋出ニテ。此方ヨリ生捕テ。アラスベニ。軍勢ヲバ引取
 グヘト申ケレバ。衆徒ノ申ス旨理リアリトテ。軍勢ヲバ引取
 テ帰洛アリ。不日秀康ガ郎等ヲ搦捕テ。六波羅ニゾ
 送リケル。此者ノ白狀スルニ依テ。十月十六日秀康秀澄
 兩人ヲ河内國ヨリ生捕テ。六波羅ニゾアラシケル。抑此亂
 道ハ此兩人ノ謀計ヨリ事起ケリ。重科責オモカルシトテ。

関東へ申サレ六條河原ニシテ首ヲ刎獄門ニ裹ラレタリ。

鎌倉天變地妖

世ノ中不^ト二靜謐ニ屬ニ。新帝御位ニ即^カせ給ヒ物サトガニ
キ年モクレテ春々^ト今日トイフヨリニテ京都鎌倉オチ
ジク賑^トヒ草木ノ色モ新タニミエ鳥ノ声^トテモ^トミジケナ
リ正月七日若君御^ト始メアリ同一月六日ニ南庭ニ
テ犬追物有^トテ若君^トニ御入^トス同四月十
三日ニ承久四年ヲ改メテ貞應元年トゾ号ニテルコロ
鎌倉ノ前濱腰越ノ浦くニ死セル鴨鳥^トモナ^ト波
ニラレテ寄來リ八月初ヨリ戌亥ノ方ニ彗星イテ
軸星ノ大サ半月ノトク色白ク光芒赤ニ^ト等ノ怪
異只事ニアラズトテ前濱ニシテハ七座百怪ノ^トシリヲ

支ハレ御所ニ^トテ^ト泰山府石ノ祭ヲ^ト始マラレケルサレ
トモ異ナル珍事モナ^ト十一月二十二日ニ六京都禁裡ノ
太嘗會ヲ無爲^ト遂^ト行^トユハレ大外記師季朝臣書札ヲ
モテ^トテ^ト關東ニ下ス除書等ヲ相副^トテ到著^トセシタリイ
トメテ^ト御事ニ淳厚ノ世ニ立歸ルキ瑞相也^トテ
民百姓^トテヨロ^トアヒ奉リケリ。

太上法皇崩御付富士淺間御遷宮

同一年五月十四日太上法皇崩御ニ祭^ト壽筭四十五
歳コレ當今ノ御父持明院ノ官守^ト親王ノ御事ナリ後
高倉院ト謚アリ尊号奉リ給ヒテ後僅^トカニニ箇年榮
貴ノ春ノ花^トタ咲残リテ感^トナラヌニ嵐^ト矢^トク^トキ^ト入^トハ
西スニ異ナラズ^ト惜カルキ御命カナト其力^トサ^トノ入^トハ

歎キ給フモ理リナリ。同六月、駿河國富士浅間ノ宮造
替遷宮才レケリ。陸奥守義時コレヲ經營レテ。関東諸
謚家運長久ノ祈リトス。抑此御神ト申スハ。往昔孝靈天
皇即位五年。近江ノ湖水始メテ湛エ。富士山ソノ日涌出世
リ。清和天皇貞觀五年ノ秋八月ニ白衣ノ神女アシタリ
給ヒレヨリ事起リ。延暦二十四年ニ巫ニ託宣アリ。我ハコレ
淺間大菩薩ナリト。平城ノ帝ノ大同元年ニ初ナテ此社ヲ
建テラル。國府ノ淺間ノ宮ト申スハ。延喜年中ニタテラレ。大
宮ノ御神ヲニニウモ奉リ。山上ノ社ヲ本官ト崇メ。府
ノ官ヲハ新宮ト名付奉ル。ソノ始ヲ尋ヌルニ三嶋明神ヲ。
神代ノ御時ニ大山祇神ト号シ。淺間ハゾノ御娘木花開
耶姫トゾ申ケル。守リハ遠ク四海ニアマ子ノ威ハ
三八

州ニホトコレ給フ。靈驗ノアラタルコト都鄙ニ涉テ。馬
レナク利生ノイチシルキコト。貴賤ヲエラハズ。明ラケニ朝ニ
マツテ、祈リ申レタヌハ又賽下ウレシス。義時アカク頭ヲ
カタブケ。國家安穏ノ祈リライタレ。此遷宮ヲ經營セラル。
優曇花說付下部女房生ニテラル。

同七月ニ鎌倉藥師堂ノ谷ノ邊リニ淨密法師トテ。猶リス
ミケル僧アリ庵リノ前ニ優曇花ノ咲タリトテ。遠近ニ風
聞ス。鎌倉中ハ申スニ及バ。近國ノ在々所々聞流ヘく。
貴賤男女群集シテ。コレヲ三ルコト。才島モレニ一位禪尼
此由ヲ聞給ヒ。優曇花トヤラニハ世ニ布ナルコトニ喻ヘテ侍
ベルヨ。此古イカナル謂ニ依テ咲ヘレトモ思レズ。ドテ。
近弘上人ヲ召テ。優曇花ノ事ヲ尋ニラル。上人申サレテ

ルハ柳優曇花ト申スハ此世界ノ人ノ壽八万歳時ニア
ナリテ轉輪聖王上テ須弥ノ四洲ヲ領シ給フ威徳アレギ
イ大王世ニ出給フ一千人ノ皇子ヲ持給ヒ七寶ヲ身ニ帶
シ不足ナルコトモトツモナニ國五々カニ民賑ヒニ風樹ヲ
ラサス兩壠ヲヤフラス五穀ハ耕作せアルニ自ラ地ヨリ
生じテ櫟櫻ナニ衣裳ハ樹ノ枝ニアヌレテ裁縫トイフユ
トモナレ輪王不ナハチ車ニメサレテ須弥ノ四洲ヲメグリ
給フ大海ノ渚黃金ノ沙ノ上ニ三千半^呂シテ優曇花
ノ開出テ盛リハイト^ハ久^ハニ^ハ千^ハ塩^ハ三^ハ咲^ハ浦潮^ハ
ナリ候カル子細ハ此古ノ生^ハ学^ハ匠^ハ知事ニニテ王候ヲ
ハズ然ルニ只今乞^ハ法師^カ庵^リノ前ナニドニ咲^ハキ花
ニテハ候^ハズ只賣僧ノ結構ナリト傍若無人ニ^ハ云^ハキ^ハ

ラサレタリ。一位禪尼ハ誠ニカル子細ハ始テ聞候。サテ
ソノ優曇花ハイカナル花ノ形ニテ候ラン木ニテ候カ草
ニテ候カト問^ハシニ上人屹トツリテソレニテハ覺^セス候
トテ御前ヲ立テ帰ラレケリ當座ニアリケル人^ハサテ
龜珠ナル學者カナト笑ニ合給ニケリ。一位禪尼ハ遠
藤左近將監ヲ召^ハシヨク見^ハ窟^トテ叅^ハレ上テ^ハ遣^ハサル^ハ帰リ叅
リテ申ケルハサレモナキ事ニテ候芭蕉ノ花ノ咲タルニテ
今ハ大^ハカ夕散果タリトゾ言^ハシケル昔ヨリ今ニイタル
ニテ芭蕉ノ花ハ咲事希ナレバ世ノ入コレヲ優曇花ト^ハト
御沙汰モナカリケリ同九月五日大倉谷ノ横町ニアル
下部ノ女房一度ニニ子ヲ産タリ兩子ハ世ニアレドモニ

子ニテ生コトハ希有ノ例ナリ。然レドモ先規アレバニヤ。
 三子ヲ産ルニハ官倉ノ衣食ヲ賜ヒテ。養育ストイフ事。
 國史ニ載ラレタリ。其期九十日ナリト。有職ノ人申スニ
 依テ。一位禪尼ヨリ雜色三人ヲ彼家ニシケテ。養育ス。
 キ尹由仰仕舍メラレ。子母ノ衣食ヲ賜ヘリケル所ニ。三子
 ナガラ夭殤ストソ聞エシ。是モ鎌倉ノ珍事ナリト。人

申合レケリ。

大魚死寄浦付旱魃請兩

同三年四月二十八日。若君ノ御手替始アリ。陰陽頭國
 道朝臣。日次ヲ選ヒテ定メテラス。手本御硯等。御父道
 家公ヨリ送ラル。所ナリ。其式ハ元ニア儀ニ才ナレトカヤ。
 同五月。近國ノ浦々ニ名モシラヌ大魚トモ才ホク死シ

テ。波ノ上ニ浮アガリ。ニ浦ガ崎。六浦ノ前濱ニ打寄スル。
 是ヲ取印ゲテ鎌倉中ニ充浦ス。家々買取テ。コレヲ煎ジ
 テ脂ヲトル臭香ス。テニ四方ニ三千チ。山谷ニ亘ル。コレ旱魃ノ
 兆ナリ。只事ニアズトモヒケルガ。申スニ多カハズ炎旱ニキ
 リニヒテ。田畠焦レタリ。請雨ノ法才コトハルベシトテ。百壇ノ
 不動供一字金輪水天供降雨ノ法。仁王觀音經ノ御讀
 經ヲオコナハレシカドモ。火龍ノ空ニ塞カルカ。祝融ノ山ニ出
 タルカ密雲ハタナヒキ。大虛ハクシドモ。一滴モ降コトナシ。
 去年ヨリ打シキ。天地ノ災變サバグナリ。五龍祭屬星
 水曜等ノ御ツシリヲオコナハレテ。然レキカト衆議更ニ區
 す。同六月ニタリテハ。イト、炎暑安シクシテ。草木ノ葉
 ハ枯リキ。人ハ熱サニ堪シテ。川水モ涸アガリ。土石ノ中

ヨリ燃出ルカ如クナレハ蛇蛙ヲ初ニテ死スルコト。オロタ、
ニ一位禪尼コレヲ歎キ給ニテ神社佛寺ニ仰せア。請雨ノ
御祈禱サニシクナリ。陰陽頭國道朝臣ハ誤所七瀬ノ御
祓ラ。ノセハ同ノ信賢朝臣ハ金洗ノ澤沉ノ祭ヲゾオモト
ニケル。同ノ信賢朝臣ハ江嶋ノ龍穴ニオユナヒソノ外袖河
杜戸六浦固瀬川ニ八龍ノ祭ライトナ三日曜七座ノ太山
府君十壇ノ水天供トリ。ノ二修セラル。所ニ同六月十日
ノ夜ニ入テ甘雨降下リケレバ。上下万歳ヲ唱ヘテ。ヨロコブ
コト限リナ。早苗。色ヲ直シ。田面ノ蛙モウレシケニテ
声メツラカニゾ。オホエケル。

北條義時死去

同月十一日前陸奥守北條義時心馳コトノ外ニ幽ニ給フ。

日比病氣ノ事アリニカトモ。差テ殊ナル色ニモ覺工給ハサ
リニ所ニ俄カニ危急悶乱ニ人事ヲモ省タニハズ。一位禪
尼ヲ始メテ。子息一族内外ノ人。手ヲ握リ汗ヲナガシ。
上ヲ下ニ返ニ給フ。陰陽師國道參貞等ラヌシテ。御祈禱
仰せ付ラレ。天地災變ノ祭。一座三万六千ノ神祭。屬星如
法ノ太山府君ノシリラオヨナフ。供物ソノ式ヲ守リ。十二種
ノ重寶五種ノ身代コトヅク其沙汰アリ。ソノ外天曹地府
八字文殊訶利帝母。七佛藥師金輪ノ法。ノイシ修セラルト
イヘドモ。時ウツルニ隨ニテ。イヨク危急ニ迫リ給フ。翌日十
三日ノ巳ノ刻ニツツ井ニ墓ナクナリ給フ。行年六十二歳ナリ。
同十八日。故右大將家ノ法花堂ノ東ノ山上ニ葬テ。一堆ノ
墳墓ニゾ埋ニケル。人世ノ浮生木面ノ泡石火電光一夢中。

スベテ無常ノアリサ。誰カハサニ遍ルキナレドモ榮貴
今盛ニナル時節ニアタツテ家門コヒ富ニタル武威力^{アサ}
ク敵中ソカニ天下ノ事イカアラシト危ム人モ有ケリ。式
部大夫駿河守陸奥四郎同五郎同六郎二浦駿河前司
其外宿老^{シカラタ}翁^{シカ}輩^{シカ}服^{シカ}著^{シカ}御家人等^{シカ}
候シテ忌ニ籠リ給ニシカバ鎌倉中打潛ニテ物アハレニヅ
エニケル。

武藏守^{ヤヌキ}巻時^{シヨウ}執權付^{シヨウ}二位禪尼^{ビシニ}被誠^{ヒシニ}二浦義村^{ヨシムラ}
京都三飛脚^{ミツカツ}老^{シカラタ}サレシカバ相模守時房^{シマモウ}武藏守巻時^{シヨウ}
取物モドリアエズ六波羅^{ロブロ}立^リテ同二十六日^{ジヂ}晚景^{シテイ}ニ鎌倉
二下著アリ。一位禪尼對面アリ。將軍家ノ御事御後見ニ
君^{シテハ}前陸奥守ニ相替ラズ時房巻時^{シヨウ}トリオユ^{トリオユ}ハルベキ由

仰せ出サル觸穢^{シヨクユ}ノ砌^{ヨギ}リ楚忽^{コツフ}ノ構^カヘ憚^{ハカ}リアル旨^{ヒキ}御返事
ヲ申サレタリ。前大膳大夫入道^{カクア}覺阿申^{ケルハ}世ノ安危人
ノ疑^{シカ}フベキ時ナリ。兩人執權ノ議定アラバ靜謐スベレ早ク
其沙汰御^{シタケ}申給ヘトアリ。去ヌル十三日ヨリ今日ニ及
ビテ世上ノ巷說^{カタツヅ}キ申ナリ。武藏守巻時^{シヨウ}弟等ニ打杏^{ハシ}
ボサルベキ運命ニテ京都ヲ出^シテ下向セラル淺^{シカ}キコトヲ
見シト風聞アリ。元久二年ヨリコ^ト易タ義時ノ執權タル
コト二十年ニ及ベリ。然ルニ義時ノ後室ハ伊賀守朝光力
娘^{メイ}ナリ。此後室ノ多^シ武藏守巻時ハ繼子ニテ當腹ニ政村ヲ
ヲ世ニタテバヤト常々ニ恩ハレタリ。後室ノ弟伊賀式部丞
光宗ニ心ヲ合セ三浦駿河前司義村ヲ語ラヒ。若君頼經

公ヲ押退シケ。泰時ヲ打殺シ。義村ガ聟宰相中將藤原實雅卿ヲ。關東ノ將軍トし。政村ヲ執權ニナシ。我弟光宗ニ武家ノ成敗ライタサセハヤトゾ思ニ企タテラル。是三依テ四郎政村ノ館ノアタリ物。窓ナリ。サレドモ泰時ハ少毛驚半騷キ給ハズ。二位禪尼聞シテ。使ラモツテ政村ガ館ノ驕動ラゾ。静メラレケル。相模守時房ノ一男掃部助時盛。武藏守泰時ノ一男武藏太郎時氏ヲ。京都ニ上洛せシヌアル。世ノ中静カナラズ。畿内近國ノ人ノ心計リ難キ。オリヲナリ。早ク洛中ヲ守護スベシトテ。差上せラレタリ。鎌倉中才下ハズ。近國ノ武士馳集マリ。大名小名ノ家々ニ群泰ス。二位禪尼安カラズ思ニ給ヒ。七月十七日ノ子ノ刻ハカリ。二駿河属分カリラ召具シテ。潛カニ駿河前司義村ガ家

局

ニ入給フ。義村思ニラズ恐レタル氣色ナリ。禪尼仰セケルヤウ。前陸奥守義時ノ卒去ニ付テ。武藏守泰時。鎌倉下向アリケル所。世ノ中静カナラズ。陸奥四郎政村。式部丞光宗等。義村ガ家ニ出入ニシテ。密談ノ事アル。ヨリ風聞ス。若泰時ヲ謀リ。イエ世ニ爲カ。義時忠勤ノ大功。承久逆乱ノ治運于文靜謐共。其跡ヲ繼テ。關東ノ棟梁名ベキ者。武藏守泰時ナリ。誰カ。ヨレラヤ。タシニヤ。政村泰時ノ兩人和平ノ諫ヲ加ヘラベニ。政村ヲ扶持ニテ。反逆ヲ企テラレ。言語道断ノ事ナルベシ。政村ヲ扶持ニテ。反逆ヲ用ニジキ申切ヘシトアリケレバ。義村申ケルハ。陸奥四郎政村ハ。全ク逆心ナシ。式部丞光宗等、用意アリト覺エ候。仰セノ趣畏リテ。制禁ヲ加ヘ候。此事遁避仕ル。ビ

帽

ト。誓言ヲモツテ。請アヒ申ス。一位禪尼必ラズ和平ノ事
打置給フナトテ。ヤガテ御所ニソノ歸リ給フ。夜明テ。年三
浦義村ハ恭時ノ方々。アリケル三賓殊トナク出合ニテ對
面アリ。義村申サレケルヤウ。故義時ノ御時。義村(駕)バ
忠勤ヲ抑イテ。御懇志ヲ表セラレ。四郎殿御元服ノ時。義
村ヲ烏帽子親トニ恩息。泰村ヲ御猶子三十ナル。此芳志
アル。正シテ。恭時政村御兩所ニ付テ。イヅレニ疎カニ存ズ
キ。只不カノ所ハ兩所御和平候ヘカニ。式部泰日比計略
ノ事候。故義村諷諫。タニ候ヲハ漸ヤク帰伏ニテ候ト
矣。ケル。武藏守恭時更ニ喜怒ノ色ナク。我ハ政村ニ不サ
カ王野心ナレ。何事ニヨリテ別意ヲ。アリケル。キトソ申サレ
ケル。義村心不ニ安堵ニテ。宿所ニゾ。カヘリケル。

义時後室同兄弟并實雅中將流罪

閏七月八日。一位禪尼ノ御前相摸守時房前大膳大夫
入道覺阿。關左近將監實忠。ナレテ。世上ノ事ドモ御沙
汰ニ及ブ。禪尼仰せケルハ。光宗等ガ奸謀。隠レナシ。宰相中
將實雅卿。ニ正テハ。卿相以上ヲ左右ナシ。罪科ニ處ニ多
ニ。京都ニ正テ。罪名ヲウカヒ。奏スベシ。陸奥守ノ後室。并
ニ光宗等ハ流刑タルベニ。其外ノ與黨ハ。罪科ニテモ。アル。方
ラズトコソ定メラレケ。同二十九日。伊賀式部泰。光宗ハ政所
ノ執事職ヲアキタメ所領五十二石所ヲ召放チ。叔父隱岐
入道行西ニアキタル。一位禪尼ノ仰せトニテ。藤民部大夫
行盛ヲ政所ノ執事ニ補。尾藤左近將監景綱ヲ。武藏守
恭時ノ後見ニゾナサレケル。同八月二十九日。恭時政所ノ

吉書始アリ。家務ノ條々其式ヲ定メラル。左近將監景綱
 平二郎兵衛尉盛綱奉行タリ。義時ノ後室ヲハ伊豆ノ北
 條ニ追遣テ押籠フル。伊賀式部丞光宗公信濃國ニ流サ
 レ。舍弟四郎左衛門尉朝行同六郎右衛門尉光重ハ相
 摸掃部助武藏太郎二仰セテ京都ヨリ直ニ鎮西ニ流
 サレタリ。宰相中將實雅卿ハ京都ニ至ニ罪名ヲ注セラレ
 越前國ニ流サレケリ。婦人ノ愚性ニ威アル時ハ奢ヲ生ジ
 テ後ヲ舟ヘス。カナラズ遠キ慮リナキ故ニ近キ患ヲ
 ネクトカヤ。彼後室ノ反逆ニ依テ家亡ヒ身追リテ兄弟
 外戚三十遠戚ニ苦エヌリ。後世ノヨキ誠メナルベニ。

武藏守恭時廉直

同九月五日。故陸奥守義時ノ遺跡莊園ノ事。武藏守恭

時ハ摠領職ナリ。誰カ兎角ノ沙汰ニ及ブヘキ男女ニツキ
 テ兄弟オ木ノ子ニケルニ讓補分ノ注文アリ。一位禪尼
 ヨク泰時ニ渡サレ。若此注文ノ表ニ付テ所存アラバ。子細
 ヲ申サルベシトゾ觸ラレケル。兄弟ノ間。注文ニ任セ奉ル。サラ
 ニ異儀ナキヨ。返事アリ。恭時不才ハ所領莊園ハ肥
 脰ノ地ヲハ舍弟妹達ニツタサレ。自分ハ確ノ白田ヲ取
 リ。器財雜具モ宜ニキヲワカチアヘテ。所用十キ物トモ
 不ユニ取リ給ヘハ摠領ノ所分。エトノ外ニ少ク侍アリカハ
 二位禪尼ノ仰セニ嫡子摠領職ノ所分。イタシテ少ナニ物
 ノ數三モアラズ。候是ハ。ハカル事ナル三十間給フ。泰時申
 サレケルヤ。関東ノ執權ラウタケ給ル身ハ所領ノ事サノ
 ミニ欲フカク望ミ申スベキユトナラズ。只舍弟十モヲ不敏

エテ痛^{イタハ}リ存ズル。方^カリニテ候ト申サレシ。一位禪尼ソ
心^セサエラ感^カジテ涙^スナ^シ給^スヒケリ。オヨソ禪^ツハ不知足
ヨリ大十九ナク耻^{ウレハ}貧^{ムカシ}ルヨリ過^タタルハナシ足^スルコトヲ^知ラザ
ルモノハ富^ルモ患^{アリ}足^{コトヲ}知^ルモノハ貧^{ミケドモ}樂^ム
ト衣^ハリ。欲^シタ^ク足^{コトヲ}知^ルトキバ。心^安カニテ耻^モ
ニ遠^シカル此故^ニ得^ス難^キ。苦^シ三^ステ。管^ハトニ^シテ求メ^ステ
二^ス得^チ又^体々飽^カルトキハ危^カ辱^モ必^ラス。其中ニアリ。不^レ
易^キ取^ア難^キ。行^ハテ。危^キ避^ハテ安^キニ就^ム。ノハ辱^モ
テニ遠^クシテ樂^ムニ^シ餘^{アリ}。叅時此理リ^テ思^ニ得^テ。廉^直
直^スオユナハレニカハ兄弟一族^カ少^カラ和睦^シ。權威高^ク
輝^キテ諸國^{コト}イ^ク帰^カ伏^シ太平ノ德^ヲ逞^シ。シカ
ニケン心^{サエ}ノホドコソ。アリカタケ。

疫癘流行付鎌倉四境鎮祭

同十二月。關東ノ諸國疫疠行^ハレ。諸人コレ^ハ患^シ。土ノ
八葉石槨木喉^ニ不^ラズ。大熱狂亂^シテ不^日ニ死^ス。村里ノ
際々家^ハニ歎^キ悲^ム。声^{相連}リ。戸^ヲ塗^クアルニ所^仕タ^ク
ハカリナリ。武藏守叅時大ニ驚^キ。歎^キ給^ステ陰陽頭國^ニ
道朝臣^ヲタ^シテ。此事^{イカド}ニ^テ鎮^メラルベキト仰出サル。
候^ハ是^ナニ上ノ政事穩^カラズ下ノオユナヒ邪^ナレバ。天
地^{コレニ}感^シテ。疠鬼出^ニ禍^灾アリ。疫ハカリニ限ル^ベカラ
ス。火難水災^一テモ惡鬼^{所爲}ニアラストイフコト候^{サハ}
ス。只^子カハクハ上ニ廉直^ニ道^ヲキ。仁慈ノ德^ヲ有^カ

ナハセ給ハド下必ラズソノ恵ニ浴シ上ト下比和ノ安泰ニ帰
セハ天地交感ニ神明威ヲニ擁護ノ御眸リヲ廻ニタ
女ハ惡鬼ハ遠ク佗方ニ逃去テ世ハ淳朴ノ風ニ歸リ人ハ
豊樂ノ徳ニ住セニ昔一條院ノ御宇長保二年ニ疫病大ニ
流行セシカバ五月九日ニ紫野ニ疫神ヲ祭リテ社ヲ立テ
無メラル藤原長能が歌ニ

今ヨリハアラブル心ニシマスナ花ノ都ニヤシロサタメツ
上ニタルハ今官ノ神社ノ事ニテ候今ヨリテ存ズルニ鬼
氣ノ祭ヲ四境ニ行ナニ給ハ。然ルベク候カトゾ申ケル。泰
時サラバ祭ヲ各セト仰セアリ。國道ヤカテ宿所ニ取リ。
幣帛供物作法ノゾトク調ヘテ東ノ浦南ハ小壠西ハ
稻村北ハ山ノ内鎌倉ノ四境ニアセテ神祭ヲ各タニレ

ハ病氣コレニヤ男リケン程ナク疫ハオハリケリ。

恭時仁政付大江廣元入道卒去

嘉祿元年十一月ニ賴經八歳三十リ給フ。ステニ御元服ア
モ同一年正月ニ正五位下ニ叙。右近衛少將ニ任
ジ征夷大將軍ニ補セラル。武威四海ニ輝ヤキ門葉六合
三昌元京都鎌倉トモニ靜謐ノ声豊力ナリ。武藏守泰
時イヨク廉讓ノ道ヲオコナヒ僨約ラモツテ世ヲ惠
レケル故ニ上下賑ニテ悅ヒアリ。大名小名在鎌倉ノ
輩衆數不足ノ事マレバ金銀米穀ヲ備エカセヒコレラ弁ス
ルトモ叶ハス疲弊ニ及ブ人アレバ所領家居ノ奸惡ヲ聞
窟ケ借狀ヲ破リテア女ヘラレ自房ラ謙クナツテ礼義ヲ守
テレケル木十二人主ナ懷キ奉リ拜趨ノ心ナシ上部ナラ

スニ隨ニ附。此人人ノ御事ナラバ。身命ヲ捨テモ惜カラズ。トゾ思ハレケル。同六月。二大江廣元入道覓阿卒去也。テル。行年八十二。右大將賴朝卿ヨリ。勅カ々何事ニシケテモ。武家御政務ノ談合入すリ。心宣ニシテ欲ラ省キ。智深。クシテ慮リ。遠ク。慈悲アリテ。心志猛。方ラズ。未盡ノ賢者ト。ハレシ人ナリ。臨終ニ。タル。テ。心。正ニ。老耄ノ氣。モナシ。常ニ。ハサモナク。エタリシガ。臨終ニ。ハ念佛。高ラカニ。下。西ニ向ヒテ。手ヲ合せツ。坐ニ。カラ。往生せラル。貴カリ。ケル御事ナリ。相模守時房。武藏守恭時。二位禪尼ヲ初メ。ナセテ。力ヲ落シ給ニ。貴賤。惜。又入ハナカリケリ。法華堂ニ。墓送シテ。故右大將賴朝卿ノ御墓。ハカ。カタハラ。シタリ。数代多年ノ舊好忠義。康讓ノ德用ニヤ。大名小名。

送リノ入ぐ。芻。トモ數。ラズ。諷經ノ僧衆。巷ニ盈テ。墓所ノアリニア。トリ。中陰ノ引ラニ。武藏守ヨリ。營。タル。愁傷ノ色ヲアラスハサレケリ。

二位禪尼逝去

同七月ノ初比ヨリ。一位禪尼心地例ナラス。懶矣フ。神社佛寺ノ御祈禱サ。バニ營。三和舟。兩流ノ醫師。リツ。ビウテ。補漏。温涼ノ劑ヲ投ジ。君臣佐使ノ功ヲ假ヒ。モ。鍼灸藥石ノ効ハ露ハカリモ。ゴレ。同ニキ十二日。ノ。井ニ逝去シ。給ヒケリ。春秋六十九歳。法名ラバ。如實トゾ号ニケル。右大臣實朝公ノ御母ナリ。賴朝卿薨去ノ後。天下ノ家。右大臣實朝公ノ御母ナリ。賴朝卿薨去ノ後。天下ノ後見ヒシテ。政務ノ進退。五。コノ禪尼ノ才智ヲモ少テ。危

キ世ヲ執リ静メ諸人皆オソレ隨身ニ。尼將軍ト申せシガ
無常使ハ威勢權貴モ至テコトナク。智謀竒才モカタ升
ラス。高キモイニシキモ遁ル、モノハ更二十。葬礼ハ陸奥守
義時ノ墓ノ後新御堂ノ傍ニ木多リオサメ不^シア。一堆卵
塔ノ下ニ埋モレテ名ノ三殘ラセ給ニケリ。淨衣ノ御^{不^タ}送^スリ。相
州武州ヲ初メテ大名小名數ラシテ出^スレケリ。鎌倉
中物ノ音ヲ揚ラス。打^ハソリテ靜力ナリ。ゾノ比世ニ不^ヒ
習^ハニケルヤウハ去年十一月。義時ノ後室御物思ニ三沈ニ
テ鎌倉ニ^シカク。伊豆ノ北條ニシテツツ^ハ井ニカナリ。千利
給フソノ怨靈鎌倉ニ來ハテ。一位禪尼ノ御所ノ女房達。
ト^ハ木口ニ見ケルモ^ハオソレ驚キテ絶入ケルコト^ハ度^シナリ。
後二八禪尼ノ目ニモ見エテ。言葉ニハ出サレサリケレ共内^ハ

八御祈禱モ才ハシケルニ。禪尼程ナク心地ツヅラヒ出^ハ給ヒ。
今カク逝去シ給フ事モ此故ナリトゾ沙汰シケル。

4三浦義村經營弥陀來迎粧

伊豆ノ走湯山ノ住侶^ハ淨蓮房ハ道心堅固ノ上人ナリ。年
比駿河前司義村ガ家ニ來リ。後世ノ事ドモ物語せラレ
念佛ノタウ十キ義ヲ不^シメ申サル、ニ義村然ルベキ宿縁ニ
ヤ弥陀ノ本願念佛ノ理アリヲ聞開キ。ソレヨリイチハ毎日
毎夜數珠^ハ摘リテ念佛シケルガ。安貞二年二月二十一日ハ
彼岸ニ入^ハ初日ナリ。日比ニ承アリニ弥陀來迎ノ粧ヲ拜
ミ申サバヤ其儀式ヲ真似給^ハ營ニハ^シカニモ辨ジ奉ラ
シト望ニ申ス。淨蓮房ソレコソノイト易^ハカルベケレトテ鎌倉
三崎ノ海上三十餘艘ノ舟ヲ浮ベ舟ノ幕ニハ紫雲ノ夕大

花ヲ絲ニテヤ操リケニ。舟ノ上三翻トシテ。四方ニ
リテ降ガズ。如レ絲竹ノ声至リ。左内仕立テ定メ
タリ。レカバ其役ヘノ輩。菩薩ノ姿ニ出立。觀世音
紫金臺ヲ造築セテ。舟ノ面ニアヌハレタリ。舟ハ二階ニ拵ヘ
幕ハ下ニ張タレバ。紫雲ノ上ニ立ガズ。其次ニ勢至木
サツ合掌ニテアヌハレタリ。又中央ニ阿弥陀如來
サツ合掌ニテアヌハレタリ。又中央ニ阿弥陀如來
ツテ工給ラ。ソノ後ニ八山海惠水サツヒハ瑩キ出せル金剛ノ山。ア努リヲハラ
音ヲナレ。日藏王木ナツヒノ玉ノ笛。音声又三テ。月藏王木
サツノ瑠璃ノ琴ハ無漏實相ト。ミクラン葉。上木サツノ琵
琶ノ音ハ真如平等ノ調アリ。師子吼木サツノ草葉ハ清淨
究竟ノ声スナリ。虚空藏木サツノ方磬ハ常住凝然ノ法ヲ

兵ケル色ヲ染テ。舟コトニ走支カレ。金銀ノ金物五色ノ綵
サナカラ七寶莊嚴ノアリサ。舟ハモナカラ極樂世界モ
コニ移スカト。セヒテ幡天蓋六青龍金鳳孔雀迦
陵頻ラツクリテ。タケタレバ。雲ニカトヤキ風ニ翻リ。奇麗微
妙ノアリ。サヤナリ。ス矣ニ申ノ刻バカリニ。將軍賴經公御舟
三召サレテ。儀天カク碇。オロコシ御供ノ人ハ小船数百
艘。ソノ後ニ浮ベタリ。ニ浦駿河前司ヲ初メテ。渚ノ方ニ出
ラルレバ。鎌倉中ノ見物ノ貴賤男女ハ野ニモ山ニモ三千
人タリ。カル所。沉檀名香ノ白ニ演風ニ乘テ。四方ニ
聞エ異香薰ズ。トハコレナル。ニ十餘艘來迎ノ舟ハ沖中
ヨリ漕至スル管絃ノ乐牛漸々近キナリ。オリヨシ空晴
風静カニ波モ大キ海ノ面ニ漕居タリ。金銀五色ノ作り

アリ。駿河前司義村ハ。大造ノ經營異故ナク。願望ヲ。
ゲタリ。アリ。カタカリケル事ドモナリ。

4 將軍家演出付遊君淺菊

同三月ニ改元アリ。寛喜元年トゾ号シケル。四月十七日
六將軍家ニ崎ノ浦ニ出給フ。相模守時房。武藏守叢時
以下。才ホク。ミ大御供ニ奉ラレタリ。駿河前司義村御舟
ヲ點ジテ。饗應ノイナミ善ツタニ美ツタニ美ツタニ美ツタニ
御舟ニウツリ給ヘバ。管絃ノ調ベ声ナルヤカニ浦輪ニウツ
リテ。画白ニ海中ノ鱗モ鰐モ。ソロヘテ波ニウカニ藻ウツ
ニレバ。馬ハ秣ニ仰ギ。水中ニ魚跳ル。定メテ。驗カラメヤ。佐
原二郎左衛門尉。此比カタレナキ遊君ニ淺菊トカヤ。

△キ陀羅尼ホサツノ笙ノ音ニハ禪定正智ノ徳ヲ唱フ。
徳藏ホサツノ大鼓ノ△キハ内證發覺ノ理ヲ演タル。其
外普賢ホサツノ大悲ノ曲ニ昧王示サツノ利智ノ歌華
嚴王定自在王法自在。大自在王金光藏。金剛藏。白象王
衆寶王日照王月光王天威德王無邊身藥王トテ。スベ
ニ十五ノホサツノトリくノ舞樂ハ心モ詞モ及バレズ。タ
ノ涙ヲ流シケリ。空ニク調ニ。天人モ影向シ。海ニワタル
唱ヘニ。龍神モ出現シテ。コノ營巨ラヤ助クラン。夕陽ニ映
ヒテハ光明遍照ノ義ヲアヌヒ。潮水ニウツリテハ發菩提
心ノ想ラズ。ム時。御事去テ。コノ營巨ラヤ助クラン。夕陽ニ映
河ヲサレテ。漕隱ルレバ。貴賤男女モ立帰ル。將軍ハ還御

聞エニモノヲ具シテ叅リ。一葉ニ棹テ。声ヨク歌ニケル。皆奥セサル人ハナニ御舟ニメサレテ。催馬樂ヲ。ウタハセ元老鼠アナタウトヲゾ歌ニケル。樂ノ調ニカナニケレバ。將軍家ヲ初メテ。奇特ノ事ニゾ思召ケル。オリトハ御所ノモ。イルベキナリトテ。御盃ヲ下サレシハ。面目トゾ聞エシ。山ノ聲海ノ詠メ。絶景ノ勝境。又ヨソ六アルベカラスト。頗ニ御入奥ニシクケル。夜ニ入ケレバ。山ノ端出ル月ノ比テ。力ズく廻ル盃三オイシ。數盃ヲカタ。テケラル。風靜カニ雲才サリテ。月不デニ出テ。波アニ影ヲヒタスホトニテ。將軍家還御ナリニケリ。

勝木七郎子息則定本領安堵

同二年正月二十三日ニ將軍家由比浦ニ出給フ。小笠懸

遠笠掛次ニ流鏑馬大追物ヲ御覽せラル。小山五郎。三浦四郎。武田五郎。小笠原六郎ニ別ノ仰世シテ。作物ヲ射サセラレ。御入奥ハ限リナレ。去年十月ノ未ツカタ。此浦ニ出給ニ流鏑馬ノアリケル。次ニ相模四郎。足利五郎。小山五郎。武田六郎。小笠原六郎。三浦又太郎以下ノ房ヲニ仰セテ。二的ノ後三三々九四六二等ノ作リ物ヲ射サセラル。此藝ハ朝夕ニ御覽せラルベキコトニアラズト。相模守時房内ノ諫メ申サルト。トトモ深ク御入奥ノマリ連々御覽シテ。今ニ其事ヲ賞せラル。同二月六日鶴ガ岡ノ別當法印ハ僧綱ノ衆五六人相與シテ。御所ニマヘリ。盃酒ヲ献せラル。相州叅ラレシカバ。駿河前司以下數輩召レテ。同公スコニ上綱ノ召具セシ兒。年ノ

程十二三計ナリケルガ。同輩ノ児童ニハ杏カニサリテ。容儀偉クシカモ藝能^{タメ}アリ^テスケレ。声ウツダニシタヒケレバ。梁塵サナガラ飛揚シテ。庭ノ梢ニ風ソヨキ。聞人耳ヲ涼シメタリ。今様朗詠シ廻雪ノ袖ヲ翻せ。天津乙女ノ舞ノ姿モサコソト思ニナゾラヘ。雲ノ通路吹^フチヨト満座ソ^シ奥ヲ催サレ。將軍家御感ノアリ。イカナル者ノ子ニテ有ケルゾト問セ給。ア法仰申サレケルハ去ヌル承久ノ兵乱ニ圖ラサルニ官軍ニメサレシ勝木七郎則宗^{カ子ニテ候。}所領コト^{モツ}没收^{セラ}一族家人離散^{シテ}忽チニ孤トナリ。山林ニ吟^サニケルラ。此法師ガ養^{サヒ}置^テ候。又此外ニハ誰^タカモ頼ムベキ人トテハ更ニ大キモノニテ候ト申サレカバ。武藏守ソレハ誠ニ不便ノ事ト仰セラル。彼則宗ハ正治カバ。武藏守ソレハ誠ニ不便ノ事ト仰セラル。彼則宗ハ正治ノ比ニハ。梶原景時ニ同意セシカバ召禁メラレケルヲ。適免許ヲ蒙^{カウ}アリ。本領ヲ安堵シテ。筑前國ニ下向セシニ院ノ西面ニ^ササレテ。官軍ニ加ヘラシ。身ノ滅亡ニ及ヒタリ。然レ共家門久シキ者ノ未ナリ。御取立コレアラバ忠義ヲ存ジ奉ルヘシト。オノ^ク申上ラル、同キ八日評定ヲ遂^シテ。勝木七郎則宗^{カ子}が本領筑前國勝木莊^{カツキノヤシナカ}モノ如ク返^ス下サル。コノ所ハ中野太郎助能力^{サキヨシ}承久ノ勳功ニ依テ勸賞才^{カツ}トハレシ領地ナレドモ。子息ノ童ニ返^ス給^ル。助能六筑後國高津包行ノ兩莊ヲ其脅^{カハリ}リニ給^ル。リケリ。一藝一能ニ感應スレバ。自然ニゾノ德^{トク}ナルコト。古今コレ余ナリト。アリカタカリケル御惠^{ナリ。}

鎌倉騷動付武州計略靜謐

同月晦日刃ノ刻、カリニ鎌倉中俄ニ騒動シ諸方ノ武
 士甲^{カツチウ}曹ヲ帶^{タメ}旗ヲ揚^{タマツル}テ御所ニ馳來^{ハセタク}ルモアリ。武藏守
 泰時^{タチ}ノ館ニ^集テタルモアリ。兩所ニ群集^{タマツル}スル軍兵等。サナ
 ガラ雲霞ノ^{ヨトク}ナリ。地下町人ドモ寝^リレタル、キレ
 ニスハヤ大事ノ出來リケルゾトテ。資財雜具ヲ持^ムハビ。
 老タル親幼^{ヤイドケ}ケナキ子ヲ引^ツレテ。我モ^ト逃^ゲナヒ。或
 ハ馬ニ蹴^ケラレテ吟^{ハシ}ニ臥^リアレハ人ニ蹴倒^{ハシタク}サレテ起^{ハシタク}アガラ
 ブ手足ヲ打損^ジ氣ヲ^{サカナ}ウレナヒ。又其中ニ盜人アリテ。
 財寶ヲ^{カサナ}取り。衣裳ヲ剥^ケ今^クリ。女童ノ啼^{サキ}サケブ声^{サハ}
 巷^{カタ}ニ盈^{ミキ}小路ニ^{アリ}テ。物音モ聞^クカズ。イト^クサハ
 暗カリケレハ誰トイフ別^ツチモミエズ。上ヲ下ニモテカヘス
 武藏守コレハイカナルコトゾトテ。制止ヲ加^ハヘラレドモ。數

百騎ノ軍勢ナレバ。只騒^ギキニサ^ハキテ。輒^ク静^マラズ。ユノ
 比内ノ命^{セラル}、旨アル^甚ハタ^シ隱^ヒ便^{ナラズ}。世上ノ狼
 犬^{シテ}此節ヲ次^ゲトニ^シテ。起^リ立^トコトモアリナシ。慎^ムミ思召
 ベキヨ^リ御所へ御使ヲ^{アシ}テ^サラ^ル尾藤左近^{トウタケン}入道平三
 郎左衛門尉^ス諒訪兵衛尉二人郎從^ラ引率^シ御所門
 外ニ出^テ馬ニ打^ハリ。謀反ノ輩^{ホシ}コソアレト高声ニ喚^ハリ。濱
 邊^ラサ^レテ馳^向フ。數百騎ノ軍兵等心得タリトテ。カノ三人
 人ノ跡^ナキテ。稻瀬川ニ^ゾ到^リケル。尾藤入道道然平三
 郎諒訪五郎^スニ^シテ馬ヲ立^ツ。軍兵等ニ申サル、ヤウ諒
 三^ハ謀反人ハナシ御所ノ近邊^ヲ靜^メテレニが名^{ナリ}。子細
 モナクシテ。面^ハ旗ヲ揚^{タマツル}ラル、コト向後然ルベカラズ。夜陰
 ノ程^ハ各旌^ヲ預^カリ候^{ハシ}ニ。武州ノ仰せニテ候ゾト。ア

リ方カタ老軍シロクニ二十四人御使ミツルシテ旗ハシマヲゾアサシセケルアサシ明レ
ハ三月朔日ハヌイツキノヒ旗ハシマヲ献ケンセシトモカララ御所ミツルシテニ召スル武州ムシウ
對面トモニアリオノイ異議イギナク旗ハシマヲ進シテセラルコト神妙ミツルシテニ候スル
但シテ子細コトハモ聞ヒシタキケズ騷動ソウドウスルコト向後カタシタ固ク慎マジシヘニ
旗ハシマハ家ハセノ紋モニ二任スルセテ返スル下シサルト所カタナリトテ面ハタハタキニ
返スルサレケルトモ一舉タチ謀シテニ靜シタリケル世ヨリモシテ美談ヒタシセシト
力カタヤ

尾

鎌倉北條九代記卷第六 終

